

標準作型

○印・植付け □印・収穫

作 型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
春 作		○	○			□						
秋 作								○			□	

栽培のポイント

ナス科のトマト・ナス・ピーマン・ジャガイモ等は連続して作らない（連作障害が発生しやすいので最低3～4年は栽培しない）。
ジャガイモは石灰を多用すると「そうか病」の発生が多くなる。

- 品 種
- 春作：男爵イモ 早生。栽培適応性及び用途が広い。
キタアカリ 早生。耐湿性があり水田転作にも向く。
レッドムーン 中生。表皮が赤く楕円形。
 - 秋作：デジマ 晩生。青枯病に弱い。
ニシユタカ 晩生。そうか病に弱い。

- 種いもの準備
- 植付け前に、一片40～50gの大きさに切り、それぞれに芽がいくつかが付いていることを確認し、芽が集まっている頂部を切る。切った後2～3日位陰干しして、切り口を乾かしてから植える。
種いもの量の目安：15～16kg/a

元 肥 (1aあたり使用量)

馬鈴薯専用配合 052	10 kg	植付けの半月前までに 全面施用混和
重焼リン	2 kg	

- うねづくり 一条植えとし株間30㎝・うね幅60㎝程度にする。
- 植付け 深さ7～8㎝の溝をつくり、種いもの切り口を下にして30㎝間隔に植付ける（覆土は5～6㎝）。切り口を上にとすると腐り易くなる。
- 芽かき 地上部に出た芽が10㎝くらいに伸びたら、太い茎を2本残し他の茎を根元からとる（特に春作）。
- 追 肥 芽かき後、NK化成1kg/aを施し、株元に5㎝位の土寄せをする。半月後にもう一度NK化成2kg/aと土寄せを行う。
- 土寄せ ジャガイモは、種いもより上にできるので、土寄せで畝を追肥のたびに高くしていく（ジャガイモは土寄せで作るといわれる）。
1～3回程度の土寄せを行うが、土寄せ不足でも日が当たると緑化してしまい品質が落ちる。ただし生育初期から多くの土を寄せると新しいものの発育が遅れる。
- 病虫害 疫病：低温で雨天が続く時に発生しやすい。健全な種いもを使用し、発病株は抜き取り防除を行う。
そうか病：病原菌は土壌に残り長時間伝染する。アルカリ性土壌で発生が多い。ジャガイモの連作を避け、石灰の過剰施肥に注意する。
- 収 穫 開花後、茎葉が黄色っぽく枯れ始めた頃から、いもの太り具合を確かめ収穫する。